古典にふれる

新講座開催

千年も前から女流作家として名をなした紫式部。同時代の誰をも虜にし、かつ時を越えて私たち日本人の心をつないできた作品『源氏物語』。いよいよ、やよい図書館でも「声を出してよむ古典」講座を開催します！

10月から始まる新講座では、源氏物語の中でも「紫の上」を中心によみすすめていきます。原文を皆で一緒に声を出してよみ、先生の楽しい解説をききます。3月までの全6回講座となっています。

また、10月講座に先駆けて、9月にプレイベント講座を開催します。全3回で源氏物語の作者である紫式部についてよみます。同時代の女流作家、清少納言や和泉式部に対する見方が刺激的な『紫式部日記』や日本文学史上最高ランクの作家と位置付ける与謝野晶子の紫式部論をよんでいきます。

ぜひご参加ください！

石井先生に聞いてみました

Q　先生は足立区の色々なところで古典講座を開催していますが、はじめたきっかけは何ですか？

A　きっかけは、古典を読みたい勉強をしたいと思っていた頃に戦後の混乱に遭い、機会を失ってしまったという方々と一緒に、今あらためて日本文化の古典にチャレンジしたいと思ったからです。次の講座に参加しよう、がんばろうというように、この講座で、長生きする楽しみをぜひ見つけていただきたいと思います。

石井清弘氏
足立区出身
元足立区図書館長

声を出してよむ古典 ～源氏物語・紫の上～ 全６回

毎月第３水曜日
午後２時～4時
対象：16歳以上
定員：20人
料金：無料
事前申込制：8/26より申込開始

声を出してよむ古典 ～紫式部日記より～ 全３回

9/12・19・26(水)
午後２時～4時
対象：16歳以上
定員：20人
料金：無料
事前申込制：やよい図書館までお問い合わせください。

読書感想文のコツ！

夏休みと言えば…楽しいことがいっぱい！ ですが、宿題は順調に進んでいますか？ 特に読書感想文は、「なかなか終わらない」という声を毎年耳にします。

そんな時は、図書館に行ってみましょう。やよい図書館では「夏休み宿題おたすけ本」の特集コーナーを設置しています。自由研究や読書感想文のヒントになるような本がたくさんありますので、ぜひご利用ください。

今回は、にゃよいも宿題が終わらなくて困っている様子なので、読書感想文を書くコツを少しだけ伝授します！

ポイント1 「自分で」本を選ぼう

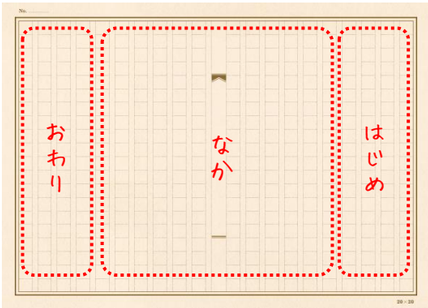
まずは図書館でいろいろな本を見てみましょう。その中で、「おもしろそう」と思った本を選びます。興味を持てる本を自分で選ぶ、ということが大切です。

ポイント2 読む時はメモをとろう

感じたことをメモに書きながら読み進めましょう。感想文を書く時にとても役立ちます☆

ポイント3 文のまとまりをつくろう

文を書く時は、3～4つくらいのまとまりを作ると、わかりやすい感想文になります。



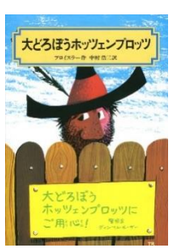
たとえば、①本を読んだきっかけ、②おもしろかったところ、③まとめ、というように文を組み立ててみましょう。書き終えたら、見直しも忘れずに！ 次の日に読み返したり、おうちの人に読んでもらうと良いですよ。

読書感想文におすすめの本

低学年向け

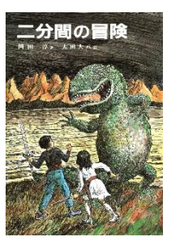
『番ねずみのヤカちゃん』
リチャード・ウィルバー／さく
松岡享子／やく　大社玲子／え
福音館書店

中学年向け



『大どろぼうホッツェンプロッツ』
プロイスラー／作　中村浩三／訳
偕成社

高学年向け



『二分間の冒険』
岡田淳／作　太田大八／絵
偕成社